



平成28年の労働災害が急増！

宮古労働基準監督署管内の平成28年の休業4日以上の労働災害は、**前年比52.9%増の52件（前年34件）**で過去最多となりました。

宮古地区における労働災害の概況

(1) 平成28年中の宮古地区における労働災害について、休業4日以上の労働災害は52人で前年よりも18人(52.9%)増となりました。

(2) 平成28年の死亡者数は0人で、宮古地区では平成24年以降死亡災害は発生していません。

(3) 主な業種別の休業4日以上の労働災害は、

製造業	7人	(前年比 + 1人)
建設業	8人	(前年比 - 1人)
陸上貨物運送業	6人	(前年比 + 4人)
第三次産業	29人	(前年比 + 13人)

となっており、第三次産業の災害が大幅に増加しております(第三次産業の主な内訳は、商業5人、接客娯楽業10人、保健衛生業8人)。

(4) 事故の型別の休業4日以上の労働災害は、全業種で、

墜落・転落	12人
はさまれ・巻き込まれ	9人
転倒	8人

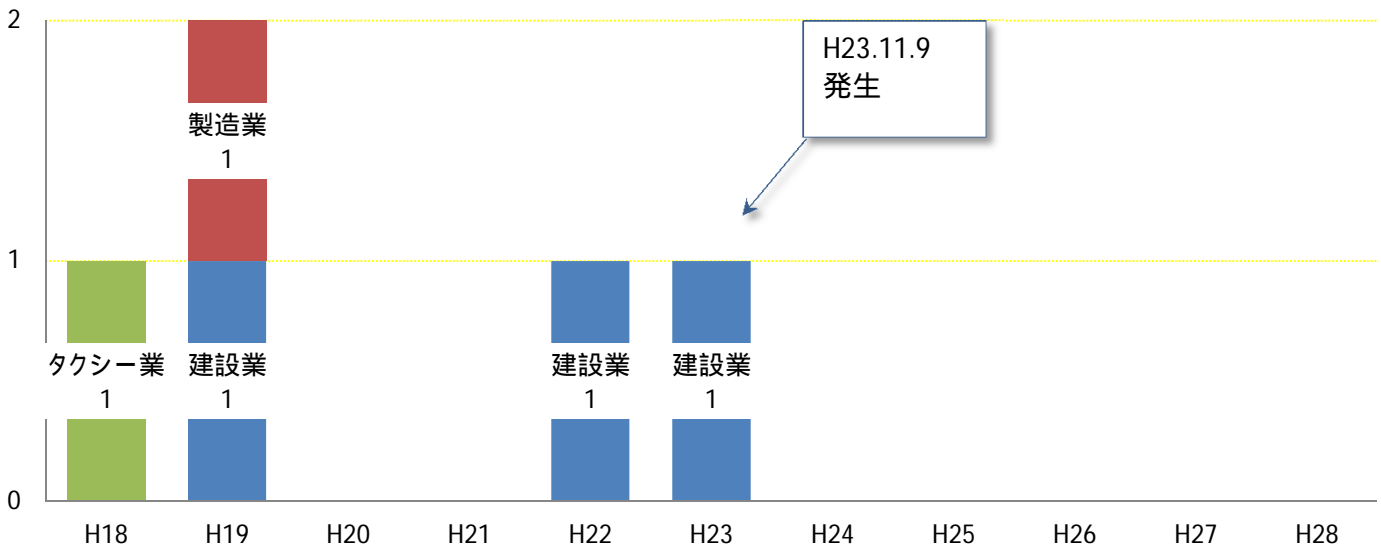
であり、大幅に増加した第三次産業では、

転倒	6人
墜落・転落	5人
切れ・こすれ	} 3人
激突	
交通事故	

となっており、「墜落・転落」や「転倒」の災害が多く発生しています。

宮古地区における平成28年労働災害発生状況(確定値)

宮古地区における死亡災害の状況



宮古地区における労働災害発生状況(休業4日以上)

